

市長との意見交換会報告書

資料 2

- 開催日時：令和6年9月20日（金）（13時30分～15時20分）
- 開催場所：指宿市役所3階 大会議室
- 参加者数：【宿泊関係者】19名
【指宿市役所】5名
市長，観光課長，企画課長，観光総務係長，企画係長
【総計】24名

※内容については簡略化して記載。敬体での発言についても常体に変換して記載。

○ 会 次 第

- 1 市長あいさつ
- 2 意見交換

○ 意見交換の内容

【市長あいさつ】

・市長に就任して2年半経ちますが、指宿市は自由に使える資金がなく、節約できるところは節約した上で、本当に必要なことに使っていこうということを続けている最中である。鹿児島県の中でもワースト2ということもあり、非常に深刻な状態である。

・その中で、出ていくお金を見直すことも必要だが、入ってくるお金を見直すということも当然必要であり、市そのものが稼げる体質をもっていこうということで、そうめん流しや砂楽といった直接運営をしている施設も含めて、少しでも稼ぐということに挑戦している。自らの売上で修繕や建て替え、様々なことについて自分たちで稼いで、市民の税金を使わなくても資金繰りが上手くいくように、今一生懸命、改善を図っているところ。

・新型コロナウイルスがまん延していた令和2年、3年というのは観光関係の皆さんや、特に宿泊事業者の皆さんが大変疲弊し、苦労していた。いよいよ新型コロナウイルスも収束し、回復をお手伝いしないといけないと思い、市として大きな共通の目標を持とうではないかということで、商工関係や観光業に直接携わっている方々など多くの方に部会に参加していただき、その中での意見を基に議論しながら、「指宿市観光ビジョン」というのを令和5年3月に策定した。

・令和5年度に5年間の計画で、指宿市全体の観光での消費額を、令和元年と比較して2割アップできるようにということを目標にさせていただいた。そのビジョンを実行していくために、指宿の観光経済戦略会議というのを立ち上げ、経済関係の皆様や、観光関係の方々には代表者に入っていて、町全体として稼げるまち、特に観光で稼げるような魅力的なまちをつくっていこうということでスタートして、今2年目に入ったところ。

・非常に不自由な財源の中で、様々な事業の提案が出てきており、それを現実に実行していくためには相当な年数と相当な資金が必要になってくる。何とかそれを少しでも早めて、できれば最短をいくような工夫や投資ができるような状況をつくっていこうということで、昨年は魅力的な観光地を作るための財源について、話題となってる宿泊税をはじめ、様々な観光財源について研究を始めた。

・それに伴い、今年度に入り、魅力ある観光地づくりの財源検討委員会を立ち上げた。自ら財源を作っていくためにどのようなことが考えられるのかということ、そして例えば、入湯税をもう少し膨らませたり、新たな税を設けたらどうかなど、いろいろな案があるわけだが、そういったものを

進めていくとするならば、こういった課題や不安があるのか。また、新たな財源のいろんな条件が何かあるなら、そういうことも示して欲しいということで、検討委員会へ諮問をし、検討を始めている。

・何故こういう場を今日は設けたかという、検討委員会で団体の代表として入っていただいている方々は、当然その団体の中で意見も聴きながら進めていると思うが、指宿市には小規模でどの組織にも入っていない宿泊事業者もたくさんある。民宿やゲストハウスなど、独自に始められている方々もたくさんいらっしゃるため、そういった方々の話を聴く場を作りたいということで要望して、今日はお集まり頂いた。今日は皆様の意見をよく聞かせていただいて、そのことを検討委員会にも報告をし、議論を進めて欲しいと思う。

【宿泊関係者】

・自由に使えるお金がないというのは理解しているが、具体的に何に使いたいというのはあるのか。

【市長】

・抽象的だが、魅力ある観光地を作るための財源にしたいということだが、実は要望や意見というのは山ほどあり、特定の形というのは今の段階で言うのは難しいかなと思う。自由といっても、法律で「法定外目的税」と決まっていないものを独自に作りましょうという場合は、目的は何をするためかということが必要になり、それが魅力的な観光地を作るための目的税だということで、進んでいくことになると思う。それについての検討に入りますという話は、鹿児島県や総務省等にも5月の段階で伝えている。

・観光ビジョンでも様々な要望が上がっているが、その中でも急いだ方が良さそうな事業もたくさんある。例えば、今開発している海岸線を、更に観光客含めたくさんの方々においでいただくために何か投資をするということになると、今指宿市が予定をしている国と町の間に緑地帯を作って公園にしていくという事業だけでも、今のペースだと20年ぐらいかかる。これが20年後に出来上がって本当に大丈夫か、という話である。

・これがもし自分たちの目的税を使うことができれば、国の交付金を活用しながらペースを何倍でも上げることが可能になるといった使い方もある。あるいは今ある施設の中で、そこが観光客が来る1番の大きなポイントで、そこをもっと魅力的にするためにお金を使ってくださいなど、これについては様々な意見があると思うが、目的としては、指宿のまちを観光地として魅力的にしておくために財源を作るということ。

【宿泊関係者】

・私はこの指宿で60年間旅館をしているが、海岸の工事で十数年営業がまともにできない。最初は年間3000万円程度売り上げていたのが、今では300万円もいかない。工事の音が煩かったり、埃が舞って、まともに営業ができない。それでも固定資産税は発生するので、経営が苦しい。

・今指宿を見ると、昔は私の隣のところはバスが10台も20台も入っていたが、今は1台も入っていない状態だが、皆さんのところはどうか。ある程度利益が出せるようにできているのか。

・後継者もいらっしゃると思うが、お客さんを入れて潤していかないと、税金であろうが何であろうが回っていかない。

【宿泊関係者】

- ・砂むし温泉の近くで営業しているが、誹謗中傷やプライバシーの件など言われて、コロナ前よりも厳しい。私たちもいろいろ考えているが、なかなか思うようにはいかないと思う。主人が3年前に亡くなり、不安な中で何とか頑張ってやっていこうかと思っているが、これだけ誹謗中傷など、お客様がいろいろ言ってくられると、なかなか自分のところをPRしようとしてもできない。
- ・だから市のイベントみたいなものでお客様に来ていただいて、盛り上げるしかないと思う。しかし、人手不足もあるだろうし、旅館の方々も大変だと思う。
- ・自分のところも後継者はいない。自分1人で今はやっているが、指宿に貢献しようかと思っているが、なかなか思うようにはいかない。

【宿泊関係者】

- ・私は20年ぐらい指宿に住んでいる。6年前に、娘のきっかけで民宿を始めた。
- ・去年は熱海に行ったが、指宿と同じ温泉街なのに商店街の風景で驚いた。指宿には高級旅館や普通の旅館もあり、全部雰囲気が良いが、商店街はどんどん寂れてきて人がいなくなっている。
- ・特にコロナが収束した後はバスも少なくなって、公共交通がないと他所の人は来れない。バスは少ないうえに、空港から指宿まで2時間近くでやっと辿り着き、疲れてしまってみんなあちこち回れないはず。あと回るところもない。指宿は有名な砂むし温泉しかないけど、3時になったらバスもない。コースがないと指宿は繁盛できない。
- ・外国人に魅力なのは砂むし温泉だけど、写真が禁止である。中国人は日本人と違って、みんなネットなどに投稿したい気持ちがある。先日もたくさんの中国人がきたが、砂むし温泉は写真が禁止と聞いて、みんながっかりしていた。従業員が時間をとられると思うけど、例えば写真を撮りたい人からは200円とかお金を徴収すれば良い。唯一の情報発信ができないのは一番よくない。それは改善して欲しい。

【市長】

- ・今までのところで、3人お話を聞きしたが、海岸事業が長引いているのが影響して、お客さんが減っているということ。あとは、先程出た誹謗中傷というのはどういう内容が多いのか。

【宿泊関係者】

- ・ネットで見たら、勝手に断ったとか、キャンセルしたとか。ゴールデンウィークも、予約したと連絡を受けて、でも部屋は満室だったのでそれをお伝えしたが、携帯で今予約したと言われて、「おまえのところに行って暴れるぞ」とか言われた。私1人で運営しているので少し怖いような感じがした。

【市長】

- ・これは指宿の観光地の持つ悩みというよりも、そういうお客様が増えてきているということなのか。

【宿泊関係者】

- ・お客様にどういう反響があるか分からないが、そういう誹謗中傷を見てどう思われるかなとは思っている。
- ・あとは、交通の足がないので、砂むしから発着できるような観光ルートなどあれば良いと、私自

身も思う。

【市長】

- ・砂むしを軸にルートを作って欲しいということ、それから空港や中央駅からのアクセスが遠いということですね。
- ・それから指宿の中で、主要な行きたいところを結ぶ交通手段がない。交通手段が不足してるので、もしお金があったらそういうところへ先に使って欲しいということですね。
- ・最後に、砂むし温泉で写真が撮れないのはよくないという話。これはたくさん受けており、今、大急ぎで具体的な案を作っている。有料で、取りあえずスマホで撮らせてよということですね。

【宿泊関係者】

- ・うちの施設は、今1番安い値段で一人あたり2,800円から売りに出していて、宿泊税がもし導入されれば、実質の値上げになるというわけですが、もし値上げをしてしまったら、指宿の空洞化というのが進んでしまうのではないかなと思って。
- ・例えば鹿児島市内で1番安いところは今1,600円でやられていて、例えば宿泊税で300円取って、うちの値段が3,100円になったら、指宿に泊まるのをやめて鹿児島市内で泊まって、そこから朝1番の6時20分とかのJRで、開聞岳に登ったり砂むしだけ入って、そのまま帰る人が増えて来るのではないかなと思うが、そうなってしまったら指宿に泊まる人自体の母数が減ってしまって、町の温泉とか飲食店の利益が少なくなると思うので、空洞化みたいなのが進んでしまうのではないかなと思うが、その辺はどのように考えているか。

【市長】

- ・まちの魅力を上げてお客さんを増やして、その中で自分たちも一緒になって良い仕事ができるか、いいねと考えるか、それとも値段を上げることはマイナス要因になるから、町は変わらなくていいから、出来るだけ安くして今の状態で上げないほうがいいよと、これはそれぞれの選択だと思う。皆さんがそちらの方でいいんですよという結論を出したら、市がそうじゃないですよというつもりはない。
- ・観光にはジャンルがあり、それぞれの中で同じ価格帯だけがあっても、そうでない層の人たちは離れていってしまうので、できるだけ様々な層があっていいかなと思う。
- ・インバウンドの方々はこちらかという、宿泊税についてはほぼ抵抗がない。ただ、入湯税は日本人独特の税ということで、日本の文化かなと思う人も結構いるようだ。
- ・先程熱海市の話が出てきたが、熱海市の場合は法定外目的税が3つあり、別荘を建てたときに発生する税と入湯税、そして、熱海市の市長は宿泊税の議論を公約にして市長選に出てるので、宿泊税を進めているという状態。町のタイプによって取り組みが違う。
- ・指宿出身の方々が指宿に久しぶりに帰ってくると、いつの間に指宿駅前はこんなに廃れたのかと言って、随分憤慨する方が多いが、今年、指宿駅前中央通りを生まれ変わらせようということで、この4月から新しく朝市マルシェが始まっている。

【宿泊関係者】

- ・朝市は人がいない。お店同士が離れていて遠い。お店をかためて欲しい。

【市長】

・未来協議会というのを作って、始まって3、4ヵ月。そこをリニューアルする事業を始めているが、そういう事業をするのに、宿泊税みたいなのが決まれば例えば使っていいよというふうになるのか、それは違うとなるのか、使える場所はいっぱいある。その一つに、通り会、駅は指宿の顔だから、この周辺については宿泊税から投資するのはどうですかという意見があっても良いのかなというふうには思う。

【宿泊関係者】

・今日の進め方ですが、先程おっしゃったように、市長がどうしたいのかというところを再度確認した上での進行為が良いかなと思う。

・資料の5ページだが、指宿の財源で入湯税の令和4年度は5,300万円、熱海市は3億5,000万円なのでこういったところを増やしたいということであれば、先程稼ぐ方法と言われていたが、コロナ前で指宿の宿泊者数はこれぐらい減ったと、これを観光客はこれぐらいに増やしたいんだと、それから税収をこれぐらい増やしたいんだと、その財源をどういうふうに使っていくのかという説明を執行部から頂ければ、それに向けて、今入湯税はあるが、これは温泉を持ってる宿だけじゃなくても宿泊者から宿泊税という形で頂くという方法があるのか、そして全体的な底上げで税収を増やしていったって、それを観光、つまりお客様が来るための予算措置にこれぐらい充てていきたいんだというようなものがあれば、皆さんが今日の中で、我々も入湯税払ってないけれども、宿泊税に変えたらこれだけお客様からいただくことになるけれども、それを頂いて市に納めることができるねと。それから、もう少し誘客にお金を使っていたら、人が呼び込めるよねという話ができると思う。

・説明が足りないのでイメージが湧かず、何のためにこの会を開いて、観光客をこれだけ今から増やしていくんだというようなものがあれば、もうちょっと違った意見なり、発想ができると思っているが、いかがか。

【市長】

・むしろ、この税の検討については、どこに集中的に投資をして欲しいのかというのは、観光関係の皆さんには具体的に聞きたい。

・重点的にどこに1番かけて欲しい、あるいはどこにかけのが1番この町にとって良いのか。そこを急いで欲しい、そこを重点的にやって欲しいというところについては、私も思いはあるけれども、まずはぜひ皆さんの思いを聞いた上で、それを検討会に意見として添えて欲しい。

・市も計画を作るのに、その財源が実際に入ってきたときにどこに充てるのかというのは勝手に充てるわけではなく、ある程度絞りこんだところに充てたい。

・少なくとも今の状態が指宿にとってベストな環境でないことは多くの皆さんも感じているし、コロナの状況からまだ完全に立ち直っていないということは確かである。政府など様々なコロナ対策の支援も大体終わりを告げてきて、いよいよ自力で魅力を作っていくといけない時になってきたので、私個人的にはあれをしたい・これをしたいというのはあるけれども、それを言い出したら逆にみんなの意見の妨げになるだろうなと思っている。今日は皆さんの意見をできるだけ聞かせくださいというつもりで話をしている。

【宿泊関係者】

・入湯税を頂くのか、宿泊税をいただくのか、それを今日話をする予定はないということか。

【市長】

・ 今日の中ではその議論はしない。ここで出てきた意見は検討委員会に報告する。検討委員会の中で議論して欲しいということを諮問して、委ねてある。

【宿泊関係者】

・ この会は、また、もう一度するのか。

【市長】

・ またやって欲しいというなら構わないが、出来れば現場からそれぞれの組合などの組織があるので、それぞれの組織の中で、意見を集約して議論をしていくのが最も良いかと思う。

・ どこの組織にも入っていないので意見を言う場所がないというような方々には、こういう直接意見を言う場所があった方が良いと思うし、それは担当課が聴くより、私が聴くのが1番良いと思うので、このような機会を使うということ。

【宿泊関係者】

・ 今日、私としては、市長が宿泊税を取りたいんだという話をするのかと思って、それに対して反対だとはっきり言おうと思っていた。

・ 指宿市の宿泊者数について、令和元年と比べて今年度は43.9%落ちている。多くの旅館・ホテルは非常に疲弊している。従業員も大分減って、減った分が戻ってこない。その原因は宿泊業というのはあらゆる産業があって、1番賃金が低い。賃金を調べてみると、厚生労働省が発表している中で257万4,000円である。あらゆる商業者の中で1番低いので、なかなか就職してくれないという問題がある。市の職員の給料が高いと言っているわけではないが、2.6倍ぐらい違う。宿泊業というのはホテル・建物は立派でもそこに勤めてる人はとても給料が少ない。

・ 宿泊税を取るとなれば、フロントでお金を集め、それを市に納めるという形になるわけだが、その負担が結構大きい。入湯税も毎月納めているが、旅行会社でも入湯税が入ってるところ、別のところ、様々で計算も大変である。お客様によっては入湯税を別で徴収しないといけないのにお金の精算は済んでいるからと鍵だけ置いて帰る方もいて、結局貰い損ねているので宿の負担ということで指宿市に納めることもある。結構これが大変で、その中で宿泊税を取るとなると、フロントの業務も大変な上に煩雑になってくると思う。

・ 税というのは、「公平・中立・簡素」という「税の3原則」があり、1番は公平。公平でないとみんな納得しない。宿泊業にだけ宿泊税を納めさせるというのが公平なのか、日帰りのお客さんは税金を納めなくてもいいのか、大きく疑問がある。そういったところで私としては反対である。

【市長】

・ 業界全体として給与体系が弱いから求人に対して人がこないということですね。市も人の確保について力を尽くしたいというふうには思っている。業界も地元の子供たちを中心に出来る限り観光業に就職するような取組ということで、インターンシップなど様々なことに努力をしている。宿泊税を人手確保に使えるかどうかは分からないが、そういう分野に投資をすれば町にとってもリターンはあるかなとは考える。

・ もう一つ、皆さんから頂いたアンケートは全部読ませていただいた。窓口負担については多くの人が心配しているということも承知している。入湯税・宿泊税については、お風呂に入る行為と泊まる行為は一緒というお宿もあるため、ますます大変になるとか、取りにくいという意見もあっ

た。それについても理解している。

【宿泊関係者】

・先程の方にお聞きしたいが、入湯税と宿泊税の両方があるのが駄目だと言われるのか。どちらかだったら良いという意見なのか。つまり、宿泊される方は消費税も払い、入湯税も払って、追加で別に宿泊税となると、三重課税になる。福岡県は入湯税も宿泊税もとっている。これはやめて欲しいというのは個人の意見である。

【宿泊関係者】

・それに関しては、温泉を持ってるところが入湯税を払うというのは理屈が通ると思うが、温泉を持ってない宿が宿泊税を取るとなると、なかなか厳しいと思う。厳しいというのは、温泉を持っていない旅館や民宿は今まで入湯税を取っていないわけなので、そこが宿泊税を取るとなると、入湯税と宿泊税を一緒にして 200 円取るということですよね。入湯税が今までもあるところは宿泊税を入湯税みたいな感じで取るようになるけど、温泉がない民宿は大きくマイナスになるかなと思う。税金が増えることが反対である。

【宿泊関係者】

・先程も話があったが、私も気になってるのが、以前は指宿の宿泊者数は大体年間 100 万人超えていたが、今はどんどん減って、60 万人を切るぐらいになっている。宿泊者数が減っているところに、宿泊税で料金が上がるということが懸念されるかと感じている。

・他地域の例を見ると、オーバーツーリズム対策で宿泊税を活用して取り組んでいるという印象がある。もう一つは、ふるさと納税の使い道のところに、納税サイトで申込みをすると観光事業等というのが記載されていないので、そういったところでも観光に対して、ふるさと納税をしてくれる方がいらっしゃるんじゃないのかと思う。

・以前観光協会の総会で、副市長が説明をされてた話の中で、指宿市は基金が他のところと同じぐらい、平均ぐらいの基金積立金をしているという印象を持っている。まずはその基金で魅力を作って、お客様を増やして、オーバーツーリズムになって、それから宿泊税を取っていくというのが良いのではないかと思います。宿泊業は、借金などをして先に魅力を作って、そこでお客様を増やして、後で回収していくという流れなので、やはり、先に魅力を作って、お客様を増やして、それから税金も増やしていくという流れになるのではないかと思います。

【宿泊関係者】

・また改めて意見を言わせてもらおうと、うちは安宿というジャンルでやらせてもらっているが、1泊 3,000 円ぐらいの宿として、200~300 円というのは、売上げの 10%、1 割ぐらいを占めるので、かなり重い負担になるというのは分かって貰いたい。

・先程の方が、市長が言われた「魅力ある観光地づくり」という言葉に対して抽象的と言われたが、致命的にもなる 1 割の利益を取られて「魅力ある」という言葉だけでは、ちょっとまだ納得できない。例えば、バスが 1 日何本増えるとか、具体的にそのためにお金を使いますとなれば納得できる。

・自分の宿で 300 円の値上げをしたら、例えばトイレを温水洗浄便座に変えられるよねとか、5,000 円の布団を 1 万円のものに変えられるよねとか、そういった自己投資で魅力を増やせるんですが、「魅力ある」という言葉だけでは、今の段階では納得できない。

【市長】

・逆にどんなところに使って欲しいのか。我々に下駄を預けるのではなく、そこに投資するんだったら賛成しますよということを言って欲しい。それが非常に意見として声が大きかったら優先順位が高くなる。

【宿泊関係者】

・私としては1番投資して貰いたいのは、バスなどの公共交通機関を増やして欲しい。お客さんの交通手段がもう少し増えたら良いと思う。

【市長】

・それは、交通の域内で観光地や名所に対するものなのか。住んでる人や観光客も移動するのに非常に便利な方法にお金を使って欲しいと言ってるのか、それとも空港バスなどの外から来る便を増やして欲しいというのか、どちらであるのか。

【宿泊関係者】

・私は長崎鼻など、域内のバスが1日3本、土日だったら2本しかないので、お金を使うとしたらその域内の交通手段がもう少し増えてくれたら助かる。

【市長】

・皆さんのアンケートでOKだと回答してくれた中で1番多かったのが、2次交通をもっと便利に、そのために投資をして欲しいというのがあった。2番目は海岸整備などの観光資源化や、魅力ある商店街など、町の中に魅力的な場所を作って欲しいということ。1番は交通アクセスを改善して欲しいということだったので、我々も受け止めたいと思う。

・出来れば観光客だけじゃなくて、地域住民の足にとってもいいというのが良い。どちらか向けにするとどうしても利用客に限られてくるので、コストが高くて、投入する資金が増えてくるといことになるので、JRがどうなるのか分からない世の中なので、本当によく考えていかないといけないと思っている。

【宿泊関係者】

・何か言わないでいると宿泊税に賛成みたいな感じになりそうなので、ちょっと話をしたいと思う。そもそも観光地指宿を魅力的にしていける事業が今の税収の中で出来ていないというのは何故なのか知りたい。

・それから、観光に関することと、宿泊に関することというのは若干意味が違うと思う。宿泊税が宿泊にダイレクトに返ってくるといものにしっかりと使われるということであれば希望があると思うが、今の話を聞くに、宿泊に関することや観光に関することは指宿の財源ではお金がないから、それをやりたいんだったら自分たちでお客さんからお金を回収して、それでやってねというのは、投げやりというか、乱暴な話ではないかと思った。

・そもそも私たちが払ってる税金の中からやれるだけはまずやろうよという議論があった上で、足りないからお客様に、こういうことを指宿はやっていきたいと、こんな観光地になっていきたいと思っているのでそのための応援として宿泊税というのを導入しましたと、ぜひこれについては御理解頂いてお支払い頂きたいですと、そしてまた来年、再来年指宿に帰ってきて、その効果がしっかりと町に落ちたということをリポートして、ぜひ御覧になってくださいと、もっといい観光地、

宿泊業になってみせますというのが正しい姿かなと思う。

・宿泊税がなければもう何もできない、何もしないというのがそもそもスタートだと、私たちもやろうよみたいな気には、ちょっとならないのではないかなと思う。

・払うのはお客様であり、集めるのは宿泊事業者、私たちのスタッフだったり、私たち自身である。だから、これだけ上がるにはこういう理由がある、僕らの夢なんだというふうに、宿泊事業を営む私たちスタッフが、しっかりと自信を持ってお客様に言える・集められる仕組みがしっかりとなければいけない。そう言って集めたからには、一般財源に組み込まれるようなこと、私たちに直接関係のないところに使われるのではなくて、宿泊に回収できるように、投資として使われるというのが必要だと思う。

【宿泊関係者】

・今の意見に似ているが、もっとコストのところを削れるところがないのかというところに目を先に向けるべきなのかなと感じた。

・あと、指宿に着いてからの交通手段について、先程バスの話などもあったが、都会では電動キックボードや自転車などが結構普通になってきているので、エリアを限定したりしながら、部分的に始めて、投資が少なくてやりやすいところでまずは始めてみるのも良いのかなと思う。

【宿泊関係者】

・一棟貸切りの宿をやっている。コロナの最中にオープンしたので、ようやく戻ってきたかなと感じているが、何が平常運転なのか分からないまま経っている。言いたいことは皆さんがほとんど全部言ったと思うが、要はこの徴収した税は観光に使うということだが、その使い道が指宿中心地に集中しているかなという気がしている。

・例えば、長崎鼻は大変風光明媚で、素晴らしいと思っているが、結構ぼろぼどになってきている。開聞山麓公園も素晴らしいところだが、結構な赤字がある状況なので、こういうところがまずは赤字にならないように、上手くやっていくというのが、大事なかなと思う。ぜひ、山川であったり、開聞にも、いろんな投資をしていただけたらなと思う。

【市長】

・専門部会などがあり、ここに参加している方に入っている方もいるが、その中で共通して、これからやろうと、まず急ぐのはこれだということを決めて欲しいと言っている。そこで決めたものに基づいて我々も手をつけたほうが良いとなる。たくさんの意見が出るので、その中である程度絞って欲しいと言っている。

・先程の意見の中で、それがないと何もしないのかということではなくて、いろんなことをやる中で今のペースでやっていくと、もう20年・30年かかるものが幾つもあるので、それを少しでも急いだ方が良いということ。ちょっと時代的にもキャッチアップできなくなっている。そこで少しターボをかけるために、こういった税が入れば、1年でこれだけしか進まなかったことが一度に進められる。

・やるんだったら目に見える形で、あるいは明らかに皆さんから見て良くなったというふうにしていかないといけない。せっかくやってるのに、よく分からないんだというのが1番いけない。

【宿泊関係者】

・アンケートで私は賛成で出したが、アンケートを集約したのを出来たら見せて頂きたい。そし

て、賛成の前提として、オーバーツーリズムほどではないが、お客様が増える状態で税は導入していただきたい。減ってる状態だと、多分これからも減ると思う。

・もう1点が、宿泊税の使い道の話合いを、このような宿泊業者が多い条件で行っていただきたい。入湯税がいろいろなことに使われているので、自分たちが集めた分は宿泊に関するものに使っていききたいという思いがあるので、こういう宿泊業者が多い中で、決めていただければと思う。

【市長】

・使い道や導入を決める場は、いわゆる有識者というメンバーと、それから経済関係の商工会の代表であったり、宿泊事業者は旅館組合などの組織が入ってもらっている。だから圧倒的多数ではないけれども、そんなに声が小さいことでもない。その組織の方が、関係のないことに持っていくような議論をするとはとても思えない。

【宿泊関係者】

・恐らくここに集まりの皆様方の中で1番、歴史も浅く、1番小さい1日1組という民泊をしている。私の意見は、宿泊税徴収というか、その金額、時期などはまだ検討の余地はあるかと思うが、基本的に賛成の意向。

・というのは、私の宿に泊まる方は割とヨーロッパやオセアニア、アメリカ大陸からの海外のお客様が多く、そういった方々からすると、宿泊税というのは当然理解されていると思う。

・実際に世界を旅してみると、例えば宿泊料金はウェブで先に支払いを済ませていたとしても、宿泊税は現地で支払うというのが多い。

・指宿市は鹿児島県で見ても、世界に誇る「砂むし温泉」があり、そうめん流しなども人気がある。そういった意味で、もちろん日本国内のお客様の滞在をメインに考えるのは当然であるが、これからはもう少しインバウンドのお客様、こういった目線を入れて良いのではないかと思います、賛成している。

・使い道としては、やはり交通の便に関することが良いと思う。山川は近くに鰻温泉、玉手箱温泉などがあるが、歩きで行かれる方には自転車を貸出しているが、夏の暑い時期など交通の便がない中、移動するのは大変だというお客様の声もある。もう少し、利用される温泉施設や観光施設などへのアクセスが良くなればと思う。

【市長】

・インバウンドの方々は比較的宿泊税は当然かなという感じがする。海外目線で感覚的でいうと、1泊するということは、365分の1日をこの地で過ごすので、365分の1の住民税分をその土地に払うというのに一番近い感覚なのかなと思う。日本人にはまだ定着していないが、少しずつ定着するのかなと思う。

【宿泊関係者】

・皆さんの御意見を聞いて、なるほどという思いもあるが、私が1番思うのは今の環境の中で、宿泊費も上げなきゃならない、会社の経費も全部上げなきゃならない、一方では、借入れの利率が上がってくるといいう中で、値上げはしょうがないのかなと思う。鹿児島県が今1番お客様の入り込みが少ないと聞いている。その中で、指宿ももちろん激減している中、砂むしの値段が上がった部分の磨き上げがないと、恐らく客足は離れていくと思う。携帯で全世界に発信できるのに、それがストップしているのは、1日も早くオープンにしていきたい。砂むしには浴衣で入らなければ

ならないというルールの見直しなど、色々を知恵を出していかないといけないと思う。

・それから宿泊税については、私も見解的には賛成という言葉で言っている。やはりもっとPRして、磨き上げていかなければ、指宿は埋もれてしまうと思う。山川のかつおぶしなど、これをもっとみんなでPRできないかなという考えもある。

・そして地元にある良いものをどうやって見せるかということを、行政として引っ張っていただきたいと思う。

【宿泊関係者】

・指宿はオクラが産地で、規格外はいっぱい捨てている。市はそういう規格外のオクラを集めて、指宿駅などで詰め放題を開催すれば良いと思う。楽しみがないと観光客も来ない。そら豆とか規格外の野菜を集めて駅などでPRすると良い。

・中国人はコロナ前などは東京や大阪に行っていたが、私の知り合いは指宿のような小さい町が大好き。特に鰻温泉のスメに玉子とかあれば、みんな喜んで来る。そういうところは、毎日難しいと思うけど、土日とか祝日は市が小さいシャトルバスなどを走らせて連れていき、ネット配信して貰えばお客さんが来ると思う。

【宿泊関係者】

・私は代理出席している。代表にここで何か意見を伝えたほうが良いかと確認したところ、宿泊税については、問題ないと言っている。ただし、市に入れると、もともと予定している観光そのものに使われなくなる可能性が大いにあるため、市に入れず、観光デザインもしくは観光協会に入れるべきだと言っていた。

【宿泊関係者】

・結論から言うと、導入については、私自身は賛成だと思っている。

・いろいろ、条件はある。宿泊税というからには宿泊者から我々が徴収するので、宿泊者に還元できるものを、分かりやすい部分でまずやってみて、それが落ちついて、財源が余るようであれば、また次のものに使ったらよろしいのかなと思う。

・国内のお客様がこれだけ減り続けているため、ここで何かしら手を打たないと、このまま沈んでいくのかなという気がするので、導入は致し方ない。

・交通の話が出ていたが、路線バスが減便になっている。お客さんがいないことやドライバーがいらないという理由があると思うが、皆さん方の宿もそうだと思う。市としても、何かしらの方法でインターンリターンをさせて、その方々の就職先を斡旋するというようなシステムを作るべきじゃないかなと思う。日本の人口は減っていくわけなので、やはりお客さんを何処からか連れてこなきゃいけない。そうなった場合、やはりインバウンドというのは絶対避けて通れないところなので、そこにも傾聴した形でお金を使っていただくというのはよろしいかなと思う。

・できればこのような会合を、少し状況が経ってから皆さんの意見を聴くために行って欲しい。

・これから、「まだ宿泊税を導入してないのか」という時代が私は来ると思っている。先に大都市で宿泊税の導入が成功しているので、財源の厳しい地方都市はなおさら、温泉地はこぞってこれの導入に動くと思うので、それは流れとして致し方ないのかなと思う。

【宿泊関係者】

・ちょっと気になったのが、市長がこの宿泊税を住民税と同じぐらいの気持ちで払ってという発想

だが、私はその発想は間違いだと思う。

- ・NHKの受信料もそうだが、皆さん方は家で払ってるのに、観光地では我々の宿が、テレビの台数分をNHKに払う。これは二重徴収だ。だから、反対していかなければならない。ホテルのフロントで説明ができない。

- ・ふるさとに対する応援税ぐらいの気持ちでお客様から頂く。お客様ののためにしっかりと使っていこう、お金を出すという目的をしっかりと持たせた税金で、多少上げていくというのは良いと思う。繰り返すが、二重課税とか三重課税はして欲しくない。

以上